

# 牧師所感： 神学校卒業を祝す

## — 権 ヨセフ・韓国宣教師 —

一年を表す暦の三月は、青少年を始め壮年に至るまで、新しい夢の世界に向けて旅立つ希望の月である。つまり 小学生は中学生に、中学生は高校生に、高校生は大学生に、大学生は夢の世界へと旅立つ卒業である。

ところが 今年の 3 月は例年より寒い月のようである。いつもの年の卒業シーズンは、ポカポカ陽気で 卒業生は煌びやかな衣装を身にまとい、三々五々の群れをつくり 街を闊歩する姿が特に美しい。

さて、冒頭で記した 権 ヨセフ氏について話を進める。氏は 韓国から日本に、キリスト教の宣教師として来日した宣教師である。氏は 韓国で牧師として働いてきたが、日本人への宣教を神から示され、家族挙って来日し、千葉県を皮切りに、今は茨城県で牧会こぞしている。ところが数年間、教会堂を建てて、宣教に励んだが、日本語の難しさの故で説教につまずき、宣教師としての使命が果てなくなって、苦しみ悶えていた という。

ところで彼は説教が出来ないので、牧師を止めるか、出来れば日本の神学校に行って神学をやり直すかの岐路に立って苦しんだ。そのような時に、知り合いの或る牧師の体験談を本で読み、日本宣教の使命を再確認することになったという。その先輩牧師の証しに触発された 権 牧師は、自分も中年牧師ではあるが、年齢に関係なく、日本の神学校に行って再び学び直して、余生を神に捧げたいと決心したという。彼は先輩牧師の出身校、東京神学大学 学部に編入学が許可され、学部 2 年を修了、続いて大学院に進み、組織神学の修士課程を無事に卒業することになって、組織神学修士号を授与されたのである。

さて 以上が 権 ヨセフ牧師の経歴の一部である。ところで 権 ヨセフ牧師の人生は、第 2 期？或いは 第 3 期の人生を送ることになるだろうか。筆者が思うに彼はよく頑張ったと思う。年取って神学生になると、ギリシャ語や、ドイツ語、英語は勿論のこと、専攻によつてはヘブライ語を学ばなければならぬ。

然るに、彼は 卒業の喜びを 筆者に伝えて来た。おめでとう！

最後に 権 宣教師の今後の活躍に 神の祝福を請う！！

